

青少年立ち直り支援センターあすくるHAR ～少年に明るい明日がくるように～

教育大綱 施策③

不登校やいじめ・問題行動などへの取組や支援の充実

【取組3-5】青少年の健全育成を支える活動や立ち直り支援の充実

近江八幡・竜王少年センター あすくるHAR

(1)あすくる

・対象少年

近江八幡市と竜王町在住の中学生から成人するまでの少年

		4～6月	7～9月	10月～12月	実人数
支援者数合計		9	10	11	11
性別	男	6	7	8	
	女	3	3	3	
学識別	高校生	2	2	2	
	中学生	3	4	4	
	その他(無職少年等)	4	4	5	
支援別	犯罪・触法	3	4	4	
	不良行為・問題行動	0	0	0	
	不登校・ひきこもり	6	6	7	
	精神疾患	0	0	0	

(1) あすくる

・あすくるの支援

非行等の問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分を見つめ直し、自分の課題を克服しながら社会に適応して生活できるように個別のプログラムを組んで支援しています。

・支援プログラム(個別支援が原則です)

生活改善支援プログラム(不規則な生活習慣を見直していく支援をします)

自分探し支援プログラム(将来の夢や目標、居場所を見つける支援をします)

就学支援プログラム (復学、進学等の就学支援を実施します)

就労支援プログラム (就労の支援をします)

家庭支援プログラム (保護者のカウンセリングなど良好な家庭環境を整えるための支援をおこないます)

(1)あすくる

支援プログラムの実施数

		4～6月	7～9月	10月～12月	合計	
生活改善(通所・登校支援)		71	71	77	219	219
自分探し	対話・アイスブレイク	104	111	145	360	464
	カウンセリング	15	27	33	75	
	福祉体験・ボランティア	0	0	0	0	
	心理テスト・アセスメント	0	1	1	2	
	体験活動(スポーツ等)	3	1	6	10	
	ものづくり	2	5	10	17	
就学支援	学力テスト	0	0	0	0	27
	基礎学習	14	6	7	27	
	進路指導	0	0	0	0	
	進学支援・高認検支援	0	0	0	0	

(1)あすくる

支援プログラムの実施数

		4～6月	7～9月	10月～12月	合計	
就労支援	適性検査	0	0	2	2	14
	職業基礎・資格取得	0	0	5	5	
	就労体験	0	4	2	6	
	就職相談・職安同行	0	0	1	1	
	就労後支援	0	0	0	0	
家庭支援	保護者面談・カウンセリング	42	29	27	98	98
	交流会・学習会	0	0	0	0	

(1)あすくる

他の機関との連携

	4～6月	7～9月	10月～12月	合計	
学校	0	5	12	17	47
警察	1	0	0	1	
児童相談所	0	0	0	0	
ハローワーク	0	0	1	1	
企業等	0	0	0	0	
社会福祉法人	0	0	2	2	
NPO	0	10	0	10	
市町機関	0	0	8	8	
地域振興局	0	0	0	0	
保護司会	0	0	1	1	
家庭裁判所	0	0	0	0	
保護観察所	0	0	0	0	
保健所	0	1	0	1	
医療機関	0	2	0	2	
精神保健福祉センター	0	0	1	1	
発達支援センター	0	0	0	0	
ボランティア(通訳等)	0	3	0	3	
その他(県内少年センター等)	0	0	0	0	

(2)現状

- ①反社会的問題行動を有する少年の支援が減少し、不登校、引きこもりなどいわゆる非社会的問題行動を有する少年の支援が増えてきている。
- ②不登校、引きこもりの少年の支援が増えてきている中で、家庭訪問及び家庭支援(保護者支援)の必要性が増している。
- ③全県的な傾向でもあるが、特性があると思われる少年の支援が増えている。
- ④小中学校や高等学校との連携を始め、市子ども家庭相談室、市障がい福祉課を中心とした連携が増えてきている。
- ⑤定期通所が長期化してなかなか就労に結びつかない。そこで地域の事業所等に働きかけ、企業や事業所等に『立ち直り支援協力企業』に登録してもらい、地域と連携してアルバイトや就職などの就労に結びつける取組を始めた。

(3) 課題

- ①ひきこもりの少年の支援については長期にわたるが、成人後の支援を引き継げる先が少ない。
- ②あすくるの対象年齢は20歳までであるが、20歳までで支援が終われる少年が減少している。引き続き支援が必要となるが、連携できる機関が少ない。
- ③特性を持っている少年の支援も増えてきており、関係機関との連携やアセスメントの重要性とともに、適切な支援を行うためにも研修がより必要である。
- ④性的な事案による支援が増えてきており、あすくるの既存のプログラムでは対応が難しい。